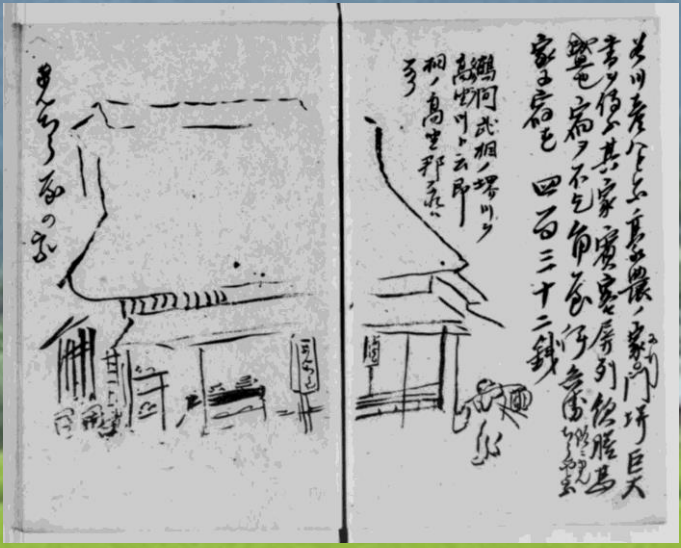
古文書から大和の歴史を訪ねる

講師 神奈川県立歴史博物館 学芸員 寺西明子さん

本講座はくずし字で書かれた古文書を初めて読む方、これから地域史の勉強を始めてみようと考えている方向けの入門講座です。

第一回 10月24日（月）
「近世の道と大和市域－坂東三十三観音、大山巡礼の道－」
第二回 11月21日（月）
「 紀行文からみる大和市－渡辺崋山「游相日記」をよむ－」
第三回 11月28日（月）
「村に残る文書をよむ－神奈川県立歴史博物館所蔵下草柳村文書を中心に－」

相模国輿地全図（神奈川県立歴史博物館蔵）



「游相日記」稀書複製会編 米山堂 大正7
（国立国会図書館ウェブサイトから転載）

日　時：2022年10月24日、11月21日、11月28日
すべて月曜日　10時30分～12時30分
会　場：大和市文化創造拠点シリウス６階　生涯学習センター　610会議室
定　員：30名（先着）
対　象：18歳以上の大和市内在住・在勤の方（高校生を除く）
参加費：各回1,000円（3回通しで申し込むと2,500円）
申　込：2022年9月24日（土）10時から受付開始
お電話または６階生涯学習センター窓口へ

市外の方は9/30（金）10時からお申込みいただけます。
右のQR、お電話または6階生涯学習センター窓口へ

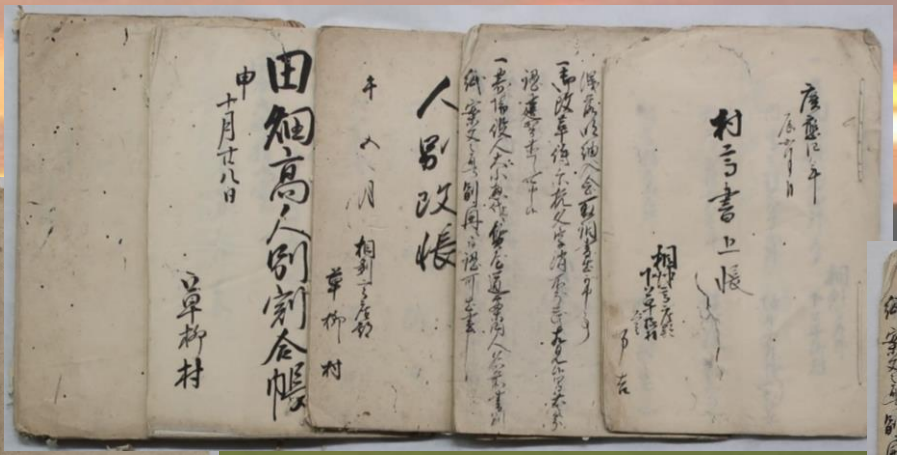
お申込・お問合せ 046-261-0491

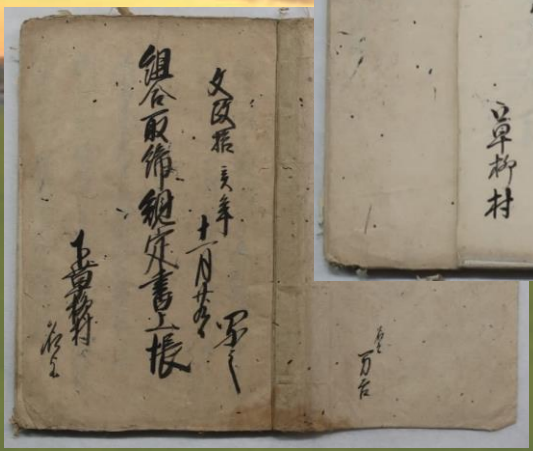
主　催｜やまとみらい（大和市文化創造拠点等　指定管理者）／大和市生涯学習センター　https://yamato-bunka.jp

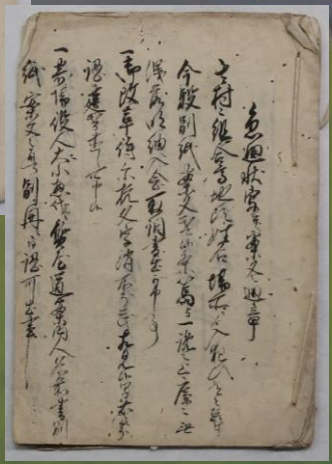
現在の大和市域は国道246号や467号などの幹線道路や鉄道3路線が走る交通利便性の高い土地柄です。江戸時代においても、大和市域には滝山道が南北に縦貫し矢倉沢往還や中原往還が東西に走っていました。大山詣や坂東三十三観音巡礼のための道としても栄えていたのです。また、17世紀初頭以降市内には7つの村が存在していました。一村が旗本領や幕府直轄領など複数の領主支配下にある相給村落が多く、年貢の上納をはじめとした村政は名主ら村役人によって担われていました。

講座の1、2回目はくずし字の読み方も含めて、相模国の地図類や道中案内記、紀行文などを用いて、大和市域にあった村々の概要をご紹介します。また、3回目は神奈川県立歴史博物館所蔵草柳村文書資料などを題材として村内の営みに焦点をあてます。

様々な種類の資料を扱いますが、本講座で主人公となるのは、大和市域の村で生活を営んでいた人々です。皆様がお住まいの地域に残された文書を読み解いて、地域の歴史に触れてみませんか。







第3回はこの「下草柳村文書（神奈川県立歴史博物館蔵）」を扱います。

【講師プロフィール】

寺西明子（てらにしあきこ）
神奈川県立歴史博物館学芸員
1985年神奈川県横浜市生まれ、2010年お茶の水女子大学大学院比較社会文学コース修士課程修了。2012年東村山ふるさと歴史館非常勤学芸員。2020年より現職。近世地方文書の整理を基軸に村落史等を研究。

※ 天候や交通機関の運行状況及びその他不可抗力により、開催が中止となる場合がございます。
※ 駐車場の数に限りがありますので公共の交通機関でお越しください。

アクセス
小田急江ノ島線、相鉄本線
大和駅から徒歩３分

～大和市生涯学習センターからのお知らせ～
メールマガジンを発行しています。
QRの申込フォームから是非ご登録ください。